

野洲市資料提供

提供年月日	令和4年7月21日
担当部課	政策調整部 企画調整課
担当者	小池・中江
連絡先電話番号	077-587-6039



森・川薫る  
野洲の地に  
通える高専  
つながる高専



Copyright © Yasu City. all rights reserved

## 高等専門学校を設置場所の検討について — 経過 —

- 令和3年12月 「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子（素案）  
有識者懇話会や関係者との意見交換、県庁内での検討を踏まえ、まとめられた構想骨子の素案を公表
- 令和4年1月 高等専門学校を設置場所の検討について  
設置場所の決定方法や選定までの手順を公表
- 令和4年3月 「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子  
「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子を策定
- 令和4年5月 (仮称)滋賀県立高等専門学校用地選定基準  
「(仮称) 滋賀県立高等専門学校 用地選定基準」を策定、公表
- 令和4年6月 最適な県有地を選定  
野洲市の県有地を最も適した県有地として公表

## 【最適県有地の選定結果】

旧野洲川（野洲市市三宅）とする。



地理院地図より作成

- ・交通アクセスに優れ、全国の高専の空白地帯を埋める位置に立地することから、県内各地をはじめ、県外からの通学生も期待できる。
- ・また、周辺にはグローバル展開を図る事業所が立地し、それらの企業の教育面の協力や技術者同士の交流などにより、先端的な学びの成果の県内全域への波及が期待できる。
- ・一方で、細長い形状の校地は設計・建築上の制約条件となるおそれがあり、校内での移動時間への影響などが懸念される。

なお、今回の選定結果にかかわらず、県有地を含めた市町からの追加的な提案を認める

例：県有地の横の市町有地・民有地と一体となった提案

県有地付近の市町有施設の活用提案

県有地での学校運営に関する市町独自の支援、経済界の支援 等

## 高等専門学校を設置場所の検討について — 今後の予定 —

- 令和4年6月 県が選定した最適県有地以上の提案地を募集
    - ① 6月15日までに県の担当課に提案地の有無を回答
    - ② 7月8日までに県の担当課に提案地の詳細な情報を記載した様式を提出
- ↓
- 最適県有地と市町提案地の比較検討
- ↓
- 事務局の採点案について、選考懇話会に意見を求めた上で、事務局で選定



**設置場所の決定（8月頃）**



# 位置図



# 駅からの経路



現況図





## 配置イメージ



※国有地を活用するにあたり、校舎や体育館、グラウンドなどの配置をイメージした図です。

# 「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子 概要①（ひとづくりとしての学びの方向性）

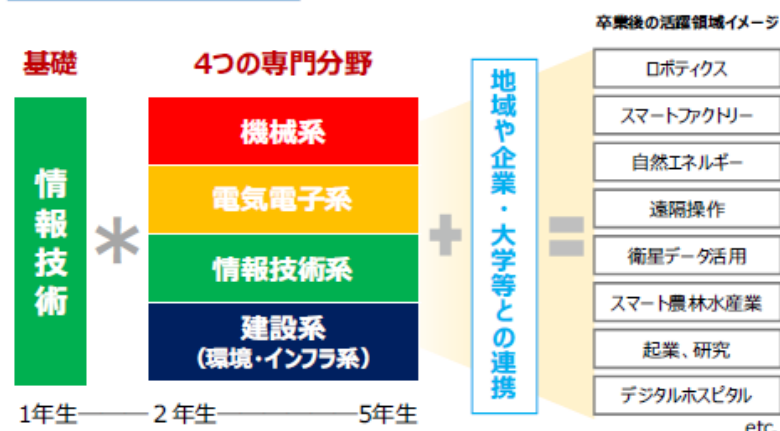
1

- 新高専を軸に、人材育成→地域への技術実装→技術への関心・憧れ、という好循環の創出に挑む
- 情報技術\*各産業分野に通ずる学びに加え、多様な学びの機会を提供し、実践力も育む
- 1学科4コース制で、1年次は混成学級、2年次からコース選択という学びの体系

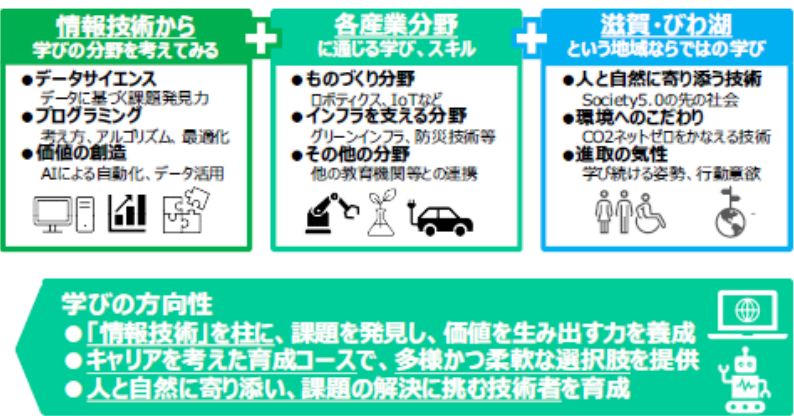
## ◆新高専の設置意図



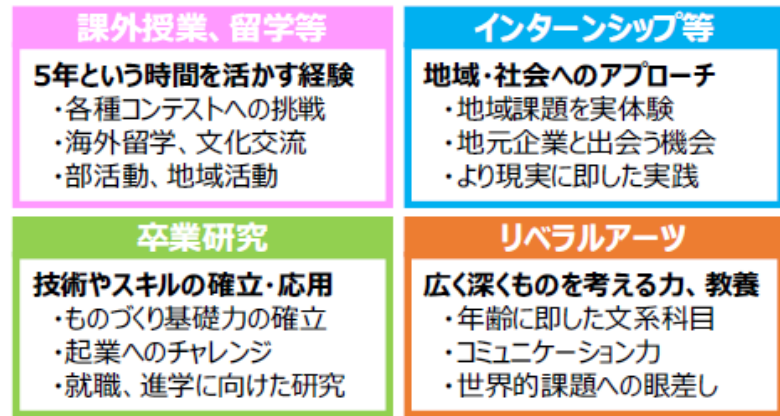
## ◆学びの専門分野（工学の実装領域はn次産業化）



## ◆学びの方向性



## ◆学びの拡がり



# 「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子 概要②（学校の基本スペック等）

2

- 入学定員は120名、公立大学法人滋賀県立大学が運営
- 高専に技術者交流・育成のハブ機能を備えることで、地域とともに高専自体もアップデート
- 設置場所は、用地の広さや周辺環境、連携先等を勘案して来夏に決定、令和9年春の開校を目指す

## ◆学校規模について

入学定員120名（3学級）、学校全体で600名  
（志願倍率2倍程度を想定）

教員数：約50名、職員数（事務・技術）：約40名

## ◆設置主体について

「公立大学法人滋賀県立大学」とする

公立大学法人滋賀県立大学

滋賀県立大学

新たな高等専門学校

## ◆経費のイメージおよび場所の要件(案)

＜施設整備費＞ （寮を除く） 単位：百万円

A：施設整備費	7,200
B：設計監理費	360
C：その他経費	2,440
合計（A+B+C）	10,000

＜運営費＞ 単位：百万円

A：収入	200
B：支出	900
収支差額（A-B）	700

※全国類似高専における平均値から算出

＜場所の要件＞ 比較項目例

校地要件	土地の規模 土地の法令上の要件 土地の安全性
周辺要件	学びの場所としての魅力 周辺の理解 教育上のふさわしさ
連携要件	他の教育機関、産業界、 地域との連携
コスト要件	整備・運営費の低減
交通要件	通学の容易性

## ◆高専を技術者交流・育成のハブに

例えば・・・

- 企業の学びへの参画、大学連携講座等
- 技術系のリカレント教育
- 企業との共同研究、課題解決コンテストなど
- 技術系ならではの図書館デザイン
- 小中学生への「ものづくり体験」

…etc.

➔ 技術をテーマとした「広場」をつくることで、  
地域はもちろん、高専自体もアップデート



## ◆今後のスケジュール（PFI手法を導入）

▼文科省への  
認可申請

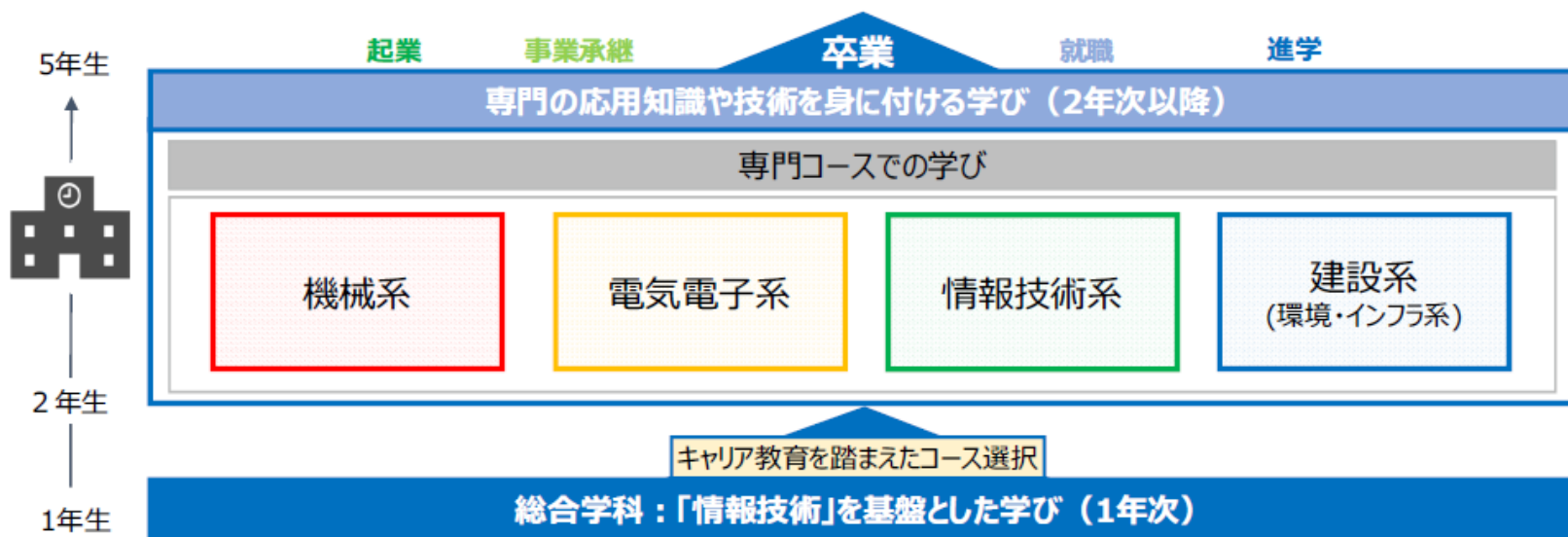
▼最終認可  
開校（令和9年春）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全体	構想骨子（案）		構想の策定・改定			構想の最終化 開校諸準備
ハード		立地 検討 施設整備計画 PFI導入調査	PFI諸手続き	設計		建築工事
ソフト			経営・運営体制の策定	教育理念・カリキュラム等の策定	教員の選定	開校諸準備 募集・ 入試
				地域との連携		

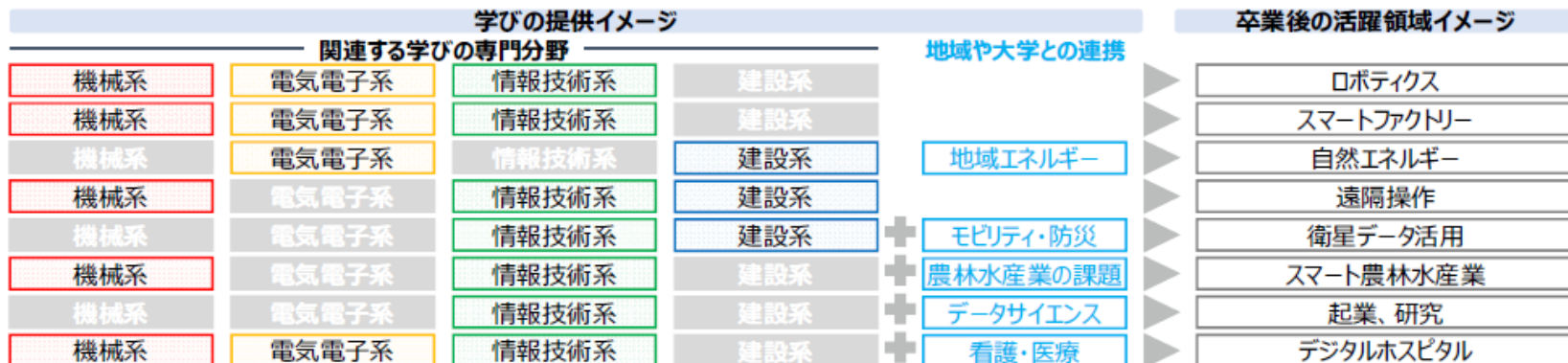
## 2. 学びの分野 : 学びの専門分野

8

- 1学科4コース制：1年次は情報技術の考え方を基礎として学び、2年次以降、これに掛け合わせる形で、機械・電気電子・情報技術・建設の専門コースにより応用専門知識・技術を身に付ける柔軟な学び



一つの分野の学びだけでなく、意欲に応じて他の専門分野を掛け合わせ、さらに専門以外の多様な学びにつながる柔軟な学習環境を提供



※複数の専門の学びを掛け合わせて学習することができることを前提としつつ、具体的な内容や方法は今後検討

など

◆質問

なし

◆意見交換

**草津市**

市内製造関係者から、即戦力となる若手人材を求める声が多数ある。高専が野洲市に設置された場合、地元企業と高専との連携した取り組みや卒業生の進路は本市の経済界にも好影響を及ぼすことから草津商工会議所と連携しながら、高専の学生から選ばれる、学びながら多くの社会経験を積んでいただける環境づくりを進めていきたい。

**守山市**

子どもたちにとって、候補地が隣接しており近いので、進路選択に魅力のある場所だと感じている。専門的なことが学べ、大学編入もできるので素晴らしいと思う。皆様の力を結集して実現に向けて協力していきたいと思う。

**栗東市**

守山市と同じく、栗東市の生徒の進路の選択が広がり喜ばしい。開校に向けて協力したい、と市長が言っていた。

誘致が実現すると、南部地域のさらなる発展につながると考えているので、4市一丸となって頑張っていきたい。

**草津商工会議所**

経済界としても南部地域に高専ができるのは喜ばしい。野洲の提案地は通学生にとってアクセスが良く、他の候補地より優れていると思う。

**守山商工会議所**

南部地域4市とその経済団体は友好的で連携がとれていると自負している。滋賀の中核部として地域連携を最大限にアピールして勝ち取っていただきたい。企業も期待をされている。我々に協力できることがあれば言ってほしい。

**栗東市商工会**

4市と経済団体が一つとなって高専を誘地し、決定したら素晴らしいことだと思う。

県任せにせず、地元がしっかりスクラムを組み、頑張っていたいただきたい。

**野洲市商工会**

提案地は駅から1.5キロと非常に魅力的な場所。南部地域の中央部であり、みなさんと協力して進めていただきたい。

**野洲工業会**

高専は県の施設であるが、企業と学生を結ぶライン、窓口を市の中に設置していただきたい。企業にとって、県を介さず学生と繋がれるというのは、今後の強みにもなる。人材確保は課題となっている。企業と高専とで長い繋がりができるようにしていただきたい。